

「伝える」情報科の授業実践

岡本 弘之（聖母被昇天学院中学校高等学校）

okamoto@assumption.ed.jp

1. はじめに

勤務校の情報科の選択授業では、「伝える」ことを中心に据えた情報科の授業を実践してきた。情報科で教えるべきことは「コンピュータスキルではなくコミュニケーションである」という思いからである。1年間の授業で様々な「伝える」制作を行い、生徒が将来、自分が伝えたい内容に一番合った方法を選択できる力をこの実践で育成したい。

表1 情報C（選択）2単位の授業項目

2. 1年間の展開と考察

1年間のカリキュラムの内容は右表のとおりである。表中☆印が「伝える」ことを意識した制作課題である。

文章・文字で「伝える」内容としては右表⑤・⑫があり、それぞれ「読み手を意識した文章を書く」、「短い標語で伝える」ことを目標とした。

他の授業でも感想文を書くことはよくあるが、多くの人に見てもらうために文章を書くというのは生徒にとって新鮮だったようである。

画像・音楽・動画を組み合わせた内容としては、右表④・⑧・⑪がある。それぞれ「画像と文字で伝える」、「画像・文字・音楽で伝える」、「動画・文字・音楽で伝える」と段階を踏みながら、広がりを持たせるようにしている。

ポスターや映像作品における写真・音楽の持つ影響力について、作品を作り他者の作品を相互評価する中で生徒たちは気付くようである。

プレゼンテーションで伝える課題として⑦⑩があり、それぞれ「自分の分析を発表する」、「提案を発表する」ことを目標としている。前に出て伝えるときの目線や話し方も含め、説得力のつけ方についても意識させて授業を企画している。

- | |
|--------------------|
| ①復習：時間割の制作 |
| ②身の回りの情報を考えよう |
| ③デジタルと情報量の単位を学ぼう |
| ④イメージポスターを作ろう ☆ |
| ⑤取材して記事を書こう ☆ |
| ⑥ネット・ケータイの安全を考えよう |
| ⑦CMを研究しよう ☆ |
| ⑧CMを制作しよう ☆ |
| ⑨著作権を考えよう |
| ⑩学校の改善案を考えよう ☆ |
| ⑪動画で学校紹介を作ろう ☆ |
| ⑫ネットの安全利用の標語を作ろう ☆ |
| ⑬私のメディア史を作ろう |

3. まとめ

情報科の大きな目標がコミュニケーションであるとするならば、単に自分の思いを文章や作品で表現することにとどまらず、だれかに何かを「伝える」ことを意識させて制作させることが重要である。そこで記事・ポスター・CM・標語といった相手に伝わってこそ意味がある制作を課題とした。まだまだ自分の思いが先行している実践なので、発表をご覧いただき、ご意見をいただければ幸いである。（Web サイト：<http://www.okamon.jp>）